

Form 3

最低3か月に1回以上の点検項目



Ver2.02 (2021年3月改訂)



稼働・未稼働を問わず、最低でも3か月に1回以上は、以下の点検をおこなってください。 ほぼ毎日休みなく造形する場合、最低でも1か月に1回は以下の点検をおこなってください。

<u> 点検項目:</u>

点検1.	レジンの寿命確認・品質点検・・・・・・・・2
点検2.	タンクキャリアの清掃・・・・・・・・・・ 4
点検3.	タンクキャリアレールの清掃・・・・・・・ 5
点検4.	Z軸・X軸リードスクリューグリスの除去と リチウムグリスの再塗布・・・・・・・・・・6
点検5.	フィルムテンショナーの清掃・・・・・・・・ 13
点検6.	ドリップキャッチャーの清掃・・・・・・・・ 15
点検7.	本体内部機器・装着品の清掃・・・・・・・・ 16
点検8.	ローラーホルダー・光学窓の点検・清掃・・・・ 20
点検9.	テスト造形「ButterflyTestprint.form」・・・・33
点検10.	カバーの点検・清掃・・・・・・・・・・・ 35
点検11.	タッチスクリーンの点検・清掃・・・・・・・ 36
点検12.	プリンタ本体まわりの清掃 ・・・・・・・・37

1



点検1. レジンの寿命確認・品質点検

レジンの寿命確認



レジンには寿命があります。 レジンカートリッジ底面に白色で製造年月日が 黒色で書かれているシールが貼られています。 左写真のレジンは「20190121BG」と表記されて おり、2019年1月21日に製造されています。 レジンの寿命はレジンの種類によって 異なります。

下記表を参照してください。

レジン(樹脂)	寿命・推奨期限 (製造年月日より)	レジン(樹脂)	寿命・推奨期限 (製造年月日より)
スタンダー	ドレジン	エンジニアリ	ング系レジン
クリアレジン	24か月	タフレジン	24か月
ホワイトレジン	24か月	デュラブルレジン	24か月
グレーレジン	24か月	タフ1500レジン	12か月
ブラックレジン	24か月	タフ2000レジン	18か月
ドラフトレジン	24か月	グレープロレジン	24か月
カラーレジン(カラーキット)	24か月	フレキシブルレジン	24か月
ジュエリー	系レジン	ハイテンプv2レジン	24か月
キャスタブルワックスレジン	24か月	リジッド4000レジン	24か月
キャスタブルワックス40レジン	24-48か月	リジッド10 Kレジン	18か月
医療系レ	・ジン	フレキシブル80Aレジン	24か月
デンタルモデルレジン	18か月	エラスティック50Aレジン	24か月
デンタルSGレジン	24か月		

下記表は2021年2月現在 Formlabs発表のものです。都合により変更される場合があります。

製造年月日から寿命を越えると、正常に造形ができなくなったり、レジン本来の性能を発揮 できない場合があります。またレジン自体が固くなり、プリンタ本体の稼働に影響を及ぼす 場合もあります。レジンは期限内に使い切ることをお薦めします。

期限をすぎている場合、期限内の新しいレジンカートリッジに交換いただくことを お薦めします。



点検1. レジンの寿命確認・品質点検(続き)

レジンの品質点検確認



- ・レジンカートリッジ・レジンタンクの保管は直射日光が当たらないよう、冷暗所で保管 してください。保管の最適な温度は18℃~28℃です。
- ・保管するレジンカートリッジを使用しない場合は、約1ヶ月に1~2回程度軽く振り、 カートリッジ内のレジンを攪拌してください。
- ・造形を始める前もレジンカートリッジを軽く振り、カートリッジ内のレジンを攪拌してください。
- ・レジンタンク内に入っているレジンは、Finishkitに付属のタンクツールーを使い、 攪拌してください。



点検2. タンクキャリアの清掃



タンクキャリア



<u>本作業に必要なもの:</u>

・ペーパータオル もしくは 使い捨てのマイクロファイバークロス(毛羽立たないもの) ・造形品洗浄時のIPA(イソプロピルアルコール)もしくは同洗浄時の無水エタノール)

ビルドプラットフォーム・レジンタンクをForm 3本体から取り外します。ペーパータオルも しくは使い捨てのマイクロファイバークロスにIPAもしくは無水エタノールをしみこませ、上 写真、破線赤丸のタンクキャリア(レジンタンクを乗せる台)を清掃します。

<u>注意:</u>



点検3. タンクキャリアレールの清掃



タンクキャリアレール







<u>本作業に必要なもの:</u>

・ペーパータオル もしくは 使い捨てのマイクロファイバークロス(毛羽立たないもの) ・造形品洗浄時のIPA(イソプロピルアルコール)もしくは同洗浄時の無水エタノール)

ビルドプラットフォーム、レジンタンクをForm 3本体から取り外します。ペーパータオルも しくは使い捨てのマイクロファイバークロスにIPAもしくは無水エタノールをしみこませ、上 写真、破線赤丸のタンクキャリアレール(レジンタンク底のフィルムを引っ張る機構)を清 掃します。

<u>注意:</u>



点検4. Z軸・X軸リードスクリューグリスの 除去とリチウムグリスの再塗付



Z軸リードスクリュー



<u>X軸リードスクリュー</u>

Z軸リードスクリュー、X軸リードスクリューに異物等が付着していないか点検し、 グリースの除去、リチウムグリースの塗布をおこないます。



<u>本作業に必要なもの:</u>

- ・ニトリル製手袋
- ・ペーパータオル
- ・リチウムグリース

<u>注意:</u>



点検4. Z軸・X軸リードスクリューグリスの 除去とリチウムグリスの再塗付(続き)



Z軸リードスクリュー

A. Z軸リードスクリューのグリス除去・リチウムグリスの再塗布





- 1. ニトリル手袋をはめます。
- 2. ペーパータオルを使用し、Z軸リードスクリュー上のグリスを 除去します。手に持ったペーパータオルを左右に回しながら、 Z軸リードスクリュー溝に付着したグリスを拭き取ります。



 リチウムグリスを少量手にとり、Z軸リードスクリューに 薄く・まんべんなく塗ります。左右に回しながら、 Z軸リードスクリュー溝にもグリスを塗ります。

<u>注意:</u> リチウムグリスを厚く塗りすぎたりしないよう注意します。



点検4. Z軸・X軸リードスクリューグリスの 除去とリチウムグリスの再塗布(続き)



<u>x軸リードスクリュー</u>

X軸リードスクリューのグリース除去・リチウムグリースの塗布





- 1. ニトリル手袋をはめます。
- 2. ペーパータオルを手に取り、X軸リードスクリュー上にペーパータオルを上下に回し ながら、X軸リードスクリュー溝に付着した 汚れやグリスを拭き取ります。



< BACKENINDE

 リチウムグリスを少量手にとり、X軸リードスクリューに 薄く・まんべんなく塗ります。左右に回しながら、 X軸リードスクリュー溝にもグリスを塗ります。

<u>注意:</u> リチウムグリスを厚く塗りすぎないよう注意します。



点検4. Z軸・X軸リードスクリューグリスの 除去とリチウムグリスの再塗布(続き)

<u>(オプション:Form 3 X軸リードスクリュー専用クリーニングツール)</u>





Formlabsでは、Form 3のX軸リードスクリュー専用のクリーニングツールを提供しております。 クリーニングツールを使い、スクリュー溝の汚れやグリスを除去しやすくします。 クリーニングツールは2個 x 1セットです。

Form 3 X軸リードスクリュー専用クリーニングツールは、 ソフトウェア「PreForm」データとして提供しており、造形可能です。 添付データ「LeadScrewThreadCleaningTool.form」よりデータダウンロード可能です。

<u>クリーニングツールを造形する場合:</u>

「タフレジン」もしくは「グレープロレジン」等、強度の強いレジンの使用を推奨します。 造形後、洗浄・二次硬化をおこないます。

「フレキシブル」や「エラスティック」等の弾力のあるレジンは使用しないでください。

クリーニングツール発送希望の場合:

「Formlabs社国内サービスセンター」もしくは一部「Formlabs製品」販売店にて 取り扱っております。お問い合わせください。

注意:

Z軸リードスクリューでは、クリーニングツールは使用しないでください。 クリーニングツール取り外し時に本体内部に落下し、取れなくなります。



点検4.Z軸・X軸リードスクリューグリスの 除去とリチウムグリスの再塗布(続き)

<u>Form 3 X軸リードスクリュー専用クリーニングツールを使用する場合:</u>





- 1. ニトリル手袋をはめます。
- 2. ペーパータオルを使用し、X軸リードスクリュー上のグリースを除去します。 手に持ったペーパータオルを上下に回しながら、X軸リードスクリュー溝に付着した グリースを拭き取ります。



写真3

写真4

- 3. 「写真3」を参照し、クリーニングツール1個をX軸リードスクリュー下部に取り付けます。
- 4. 「写真4」を参照し、クリーニングツールもう1個をX軸リードスクリュー上部に取り付け、 手順3で取り付けた下部クリーニングツールに組付けます。



点検4.Z軸・X軸リードスクリューグリスの 除去とリチウムグリスの再塗布(続き)

Form 3 X軸リードスクリュー専用クリーニングツールを使用する場合:続き





5. X軸リードスクリューに取り付けた、クリーニングツールを反時計回りに回します。 反時計回りに回すとクリーニングツールが右に移動します。







「写真4」

6. クリーニングツールを取り外すには、上「写真3」を参照し、赤破線丸の取り付け部を 上方向に持ち上げます。下部もしくは上部と下部あわせて上「写真4」のようにX軸リード スクリューから取り外れます。



点検4.Z軸・X軸リードスクリューグリスの 除去とリチウムグリスの再塗布(続き)

Form 3 X軸リードスクリュー専用クリーニングツールを使用する場合:続き



6. ペーパータオルを手に取り、X軸リードスクリュー上にペーパータオルを上下に回し ながら、再度X軸リードスクリュー溝に付着した 汚れやグリスを拭き取ります。



7. リチウムグリスを少量手にとり、X軸リードスクリューに 薄く・まんべんなく塗ります。 左右に回しながら、 X軸リードスクリュー溝にもグリスを塗ります。

<u>注意:</u> リチウムグリスを厚く塗りすぎないよう注意します。



点検5. フィルムテンショナーの清掃



<u>フィルムテンショナー</u>

レジンタンクをForm 3本体から取り外します。本体正面向かって右側、上写真の破線赤丸のフィ ルムテンショナー(本体向かって右側のタンクキャリアレール上にあるレジンタンク底のフィ ルムを引っ張る為のモーター)を清掃します。本清掃には、LPU (Light Process Unit)をプリンター 本体中央へ移動する必要があります。

LPUをプリンター中央へ移動するには・・・?

1. ビルドプラットフォーム・レジンタンク・レジンカートリッジを取り外します。



- 2. タッチパネルよりSettings (レンチアイコン) > "Maintenance" > "LPU Replacement" を 選択します。
- 3. タッチパネル内、右下の「NEXT」を選択します。 LPUがプリンタ本体中央へ移動します。





4. 上写真「<u>4</u>」のメッセージが表示されることを確認し、プリンターの電源ケーブル をプリンタ本体から外します。



点検5. フィルムテンショナーの清掃(続き)



プリンタ本体真ん中に移動したLPU(Light Processing Unit)を埃等から保護する為、上写真のよう にLPUにペーパータオルもしくは、毛羽立たないマイクロファイバークロスをかぶせます。



<u>本作業に必要なもの:</u>

・ペーパータオル もしくは 使い捨てのマイクロファイバークロス(毛羽立たないもの) ・造形品洗浄時のIPA(イソプロピルアルコール)もしくは同洗浄時の無水エタノール)



ペーパータオルもしくは使い捨てのマイクロファイバークロスにIPAもしくは無水エタノール をしみこませ、上写真、破線赤丸のフィルムテンショナー(本体向かって右側のタンクキャ リアレール上にあるレジンタンク底のフィルムを引っ張る為のモーター)を清掃します。



点検6. ドリップキャッチャーの清掃



<u>本作業に必要なもの:</u>

・ペーパータオル

・IPA(イソプロピルアルコール)(IPAがない場合、造形物洗浄の無水エタノール)

ドリップキャッチャーの点検をします。 レジンカートリッジとレジンタンクをForm 3本体から取り外します。 上写真、赤枠の中にある箇所にレジンや汚れ等が付いていないか確認します。 付いている場合はペーパータオルにIPAを少量しみこませて、拭き取ります。

<u>注意:</u>



点検7. 本体内部機器・装着品の清掃



プリンタ本体内部(レジンタンクを外した状態)にある機器・装着品を清掃します。



<u>本作業に必要なもの:</u>

・ペーパータオル もしくは 使い捨てのマイクロファイバークロス(毛羽立たないもの) ・造形品洗浄時のIPA(イソプロピルアルコール)もしくは同洗浄時の無水エタノール)







<u> 拡大写真</u>

1. ペーパータオルもしくは使い捨てのマイクロファイバークロスにIPAもしくは無水エタノ ールをしみこませます。上拡大写真を参照し、本体上面向かって左側にある「X軸リードス クリュー」「LPUケーブル」、「LPU筐体」を除く機器類・装着品①から④を清掃します。

<u>注意:</u>

Digital Factory



点検7. 本体内部機器・装着品の清掃(続き)



拡大写真

2.ペーパータオルもしくは使い捨てのマイクロファイバークロスにIPAもしくは無水エタノールをしみこませます。上拡大写真を参照し、本体上面向かって右側にある「X軸リードスクリュー」「LPUケーブル」、「LPU筐体」を除く機器類・装着品①から④を清掃します。

<u>注意:</u>

点検・清掃前に、プリンターの電源ケーブルをプリンタ本体から外してください。 プリンタ本体の電源を落とした状態でおこなってください。



3. LPUにかぶせた「ペーパータオル」もしくは「マイクロファイバークロス」を外します。 電源ケーブルをプリンターとコンセントに接続します。 右上写真のように「LPU REPLACED」の画面が出たら、画面右下のDoneをタップし、 終了します。



点検7. 本体内部機器・装着品の清掃(続き)





上写真のように、LPU (Light Processing Unit)が上面向かって右側に格納されていることを確認し、プリンタ本体の電源ケーブルをプリンタ本体から外します。

ペーパータオルもしくは使い捨てのマイクロファイバークロスにIPAもしくは無水エタノール をしみこませ、上写真を参照し、「X軸リードスクリュー」「LPUケーブル」、「LPU筐体」を 除く、本体底面・側面①②を清掃します。





LPU (Light Processing Unit)の上面に設置されている「ローラーホルダー」と「光学窓」の点検・清掃をおこないます。本点検・清掃には、LPU (Light Process Unit)をプリンター本体中央へ移動する必要があります。

<u>LPUをプリンター中央へ移動するには・・・?</u>

1. ビルドプラットフォーム・レジンタンク・レジンカートリッジを取り外します。



- 2. タッチパネルよりSettings (レンチアイコン) > "Maintenance" > "LPU Replacement" を 選択します。
- 3. タッチパネル内、右下の「NEXT」を選択します。 LPUがプリンタ本体中央へ移動します。





4. 上写真「<u>4</u>」のメッセージが表示されることを確認し、プリンターの電源ケーブル をプリンタ本体から外します。



ローラーホルダーの点検・清掃します。





LPU上面清掃前

LPU上面清掃後

光学窓を除くLPU上面が汚れていないか点検します。汚れている場合は清掃します。









- 1. ニトリル製手袋を装着します。
- 2. PECPADにIPAもしくは無水エタノールを少量しみこませます。
- 3. 光学窓を除くLPU上面部分を清掃します。

<u>注意:</u> 光学窓は、この時点では清掃しないでください。



光学窓を点検・清掃します。



本作業に必要なもの:

- ・ニトリル製手袋
- ・ペンライト等の照明器具
- ・使い捨てカメラレンズクリーナー(アルコール成分配合のもの)

<u>注意:</u>アルコール成分配合以外のカメラレンズクリーナーは使用しないでください。

<u>作業の前に・・・注意:</u>

- 作業前に静電気を取り除いてください。
- ニトリル製手袋をはめて作業をおこなってください。
- 作業は埃等のない、クリーンな場所でおこなってください。



LPU上面中央に装着されている光学窓が汚れていないか点検します。点検する際は、 ペンライト等の照明器具を使用して光学窓を様々な方向から照らして汚れがないか 確認してください。汚れている場合は清掃します。



光学窓表面を点検・清掃します。(続き)





1. ニトリル製手袋を装着します。

2. 使い捨てカメラレンズクリーナーを使用して、光学窓表面を清掃します。

<u>清掃方法</u>

光学窓を上から下に1回あたり約20~30秒かけてゆっくりと拭き取ります。拭き取る際は力 を入れすぎないようにしてください。汚れが取り切れない場合は、繰り返し光学窓を上から下に ゆっくりと拭き取ります。拭き取った際の汚れの筋が入らないよう清掃してください。

<u>注意:</u>

ー度拭き取った面は繰り返し使用しないでください。使い捨てカメラレンズクリーナーを裏返したり、新しいものに交換したりして、一回毎に新たな面で汚れや油膜等が落ちるまで清掃してください。



清掃後はペンライト等の照明器具を使用して、光学窓を様々な方向から照らして、汚れが油膜 等がないか確認します。



光学窓裏面に汚れ等がある場合:

光学窓裏面の清掃には、ローラーホルダーの取り外しが必要です。



作業の前に・・・

- 作業前に静電気を取り除いてください。
- ニトリル製手袋をはめて作業をおこなってください。
- 作業は埃等のない、クリーンな場所でおこなってください。



ローラーホルダーをLPU筐体から取り外します。



<u>本作業に必要なもの:</u>

- ・ニトリル製手袋
- ・ペンライト等の照明器具
- ・1.5mm 六角レンチ
- PECPAD
- ・使い捨てカメラレンズクリーナー(アルコール成分が含まれているもの)
- ・IPA(イソプロピルアルコール)(IPAがない場合、造形物洗浄の無水エタノール)
- ・新聞紙やクリーンペーパー等の使い捨ての敷物
- ・機器類等を埃等侵入から防ぐ為の保護カバー (毛羽立たないもの)



<u>ローラーホルダーをLPU筐体から取り外します。(続き)</u>



ローラーホルダーを取り出す前に・・・光学窓を除くローラーホルダーの点検・清掃します。



- 1. ニトリル製手袋を装着します。
- 2. PECPADにIPAを少量しみこませます。
- 3. 光学窓を除くローラーホルダー(LPU上面部分)を 清掃します。



ローラーホルダーをLPU筐体から取り外します。(続き)





<u>左写真:1.5mm六角レンチを使用し、</u> <u>16個のねじを緩めます。</u>

右写真:1・2・3・4・5の順番にねじを取り外します。

1.5 mm六角レンチを使用し、ローラーホルダーを固定している16個のねじを緩めます。

ねじを緩める際の注意点:

- ・右写真のように1・2・3・4・5の順番にねじを緩めてください。
- ・ねじは緩めるだけです。所定の位置からねじを取り外さないでください。



ローラーホルダーをLPU筐体から取り外します。(続き)





ねじが所定の位置に配置されていることを確認します。 上写真のようにローラーホルダー下をもち、LPUから取り外します。 取り外せない場合、ねじを緩めてください。



取り出したローラーホルダーはクリーンペーパーや新聞紙等の上に置きます。



<u>取り外したローラーホルダー下にあるLPU銀色の取り付け部を清掃します。</u>





ローラーホルダーを取り外し後、 ローラーホルダ下にあるLPU銀色の取り付け部を清掃します。 PECPADにIPAを少量しみこませて、取り付け部を清掃します。

LPUにカバーをかぶせ、埃等の侵入を防ぎます。



光学窓裏面の清掃の間、 LPU内部に埃等が入らないよう、保護カバー等をかぶせます。

<u>注意:</u>

カバーはペーパータオル、もしくは毛羽立たないマイクロフ ァイバークロス等を使用し、LPU内部に異物等が入らないよう 、細心の注意をはらってください。



光学窓裏面を清掃します。







右上写真を参照し、取り外したローラーホルダーの表裏を逆にします。 表裏逆にすると、16個のねじが所定の位置から取り外されます。 取り外された16個のねじは、なくさないよう別容器等に保管します。

1. ニトリル製手袋を装着します。

2. 使い捨てカメラレンズクリーナーを使用して、光学窓裏面を清掃します。

清掃方法:

光学窓を上から下に1回あたり約20~30秒かけてゆっくりと拭き取ります。拭き取る際は力 を入れすぎないようにしてください。汚れが取り切れない場合は、繰り返し光学窓を上から下に ゆっくりと拭き取ります。拭き取った際の汚れの筋が入らないよう清掃してください。

<u>注意:</u>

ー度拭き取った面は繰り返し使用しないでください。使い捨てカメラレンズクリーナーを裏返し たり、新しいものに交換したりして、一回毎に新たな面で汚れや油膜等が落ちるまで清掃してく ださい。

清掃後はペンライト等の照明器具を使用して、光学窓を様々な方向から照らして、汚れや 油膜等がないか確認します。



<u>ローラーホルダー(光学窓アセンブリ)をLPUに取り付けます。</u>



LPUを表側にし、16個のねじを取り付け部に配置します。



LPUを保護していた保護カバーを取り外します。ローラーホルダーをLPUに取り付けます。





ローラーホルダーをねじで固定・取り付ける前に、ペンライト等の照明器具を使用して、光学窓 を様々な方向から照らして、汚れや油膜等がないか確認します。





<u>左写真:1.5mm六角レンチを使用し、</u> <u>16個のねじを取り外します。</u>



右写真:1・2・3・4・5の順番にねじを取り外します。

1.5 mm六角レンチを使用し、ローラーホルダーを固定している16個のねじを取り付けます。

<u>ねじを取り付けるときの注意:</u>

- ・右上写真のように1・2・3・4・5の順番にねじを取り付けてください。
- ・ねじが小さいので、ねじを取り付ける際、本体内部等に落とさないように 注意してください。

<u>電源ケーブルをプリンターとコンセントに接続し、電源を入れます。</u>





点検・清掃が終わり、汚れ等がついていないことを確認したら、 電源ケーブルをプリンターとコンセントに接続します。プリンタは初期化します。

LPUが元の定位置に戻り、キャリブレーション(Calibration)を実施します。

右上写真のように「LPU REPLACED」の画面が出たら、画面右下のDoneをタップし、 終了します。



点検9.テスト造形「ButterflyTestprint.form」



FormlabsではForm 3用のテスト用造形データとして「ButterflyTestprint.form」があります。 データをダウンロードします。

点検7でご説明したLPU上面・光学窓の清掃後の動作確認や、造形がうまくいかない時等の 切り分け用としてご利用ください。

Form 3プリンターへ	<u>、転送する前の準備:</u>
ジョブのセットアップ	×
プリンタ	
 ■ 技続切れ ■ カ (シリアルネーム) ■ タ 	- トリッジ ンク
素材	
レジン	💧 Clear 🔹
バージョン 🚹	V4 (FLGPCL04) -
積層ピッチ	(ミクロン)
最速プリント	最高解像度
100 5	50 25
キャンセル	適用

- ・データ「Butterfly Testpront.form」を
 ソフトウェア「PreForm」で開きます。
- ・積層ピッチは「100ミクロン」に設定 してください。

・テスト造形に使用するレジンは「クリアレジン」を推奨します。「クリアレジン」がない場合、
 クリア以外のスタンダードレジン「グレーレジン」「ホワイトレジン」「ブラックレジン」「カラ
 ーレジン」のいずれかを使用してください。

・モデルの方向は変更しないでください。・サポートは付けないでください。

注意:エンジニアリング系・ジュエリー系・医療 系レジンでの本データ造形は推奨しません。



点検9.テスト造形「 ButterflyTestprint.form 」 (続き)



ジョブをアップロードボタンをクリックし、データを転送します。



点検10. カバーの点検・清掃



本作業に必要なもの:

- ・マイクロファイバー布
- ・NOVUS 1 (Formlabs社推奨品) (ない場合は、汎用ガラスクリーナー)

カアバーにおいて、マイクロファイバー布もしくはペーパータオルに「NOVUS1」 (ない場合は、汎用ガラスクリーナー)を吹き付け、汚れを拭き取ります。

カバーは外からの「光」の侵入を防いでいます。カバーに亀裂があり、その亀裂が内部へ光が 漏れている場合は、Formlabsサービスセンターにご相談ください。

<u>注意:</u>



点検11. タッチスクリーンの点検・清掃





<u>本作業に必要なもの:</u>

・マイクロファイバー布

・NOVUS 1 (Formlabs社推奨品)(ない場合は、汎用ガラスクリーナー)

タッチスクリーンにおいて、マイクロファイバー布もしくはペーパータオルに「NOVUS1」 (ない場合は、汎用ガラスクリーナー)を吹き付け、汚れを拭き取ります。

<u>注意:</u>



点検12. 本体まわりの清掃



<u>本作業に必要なもの:</u>

- ・ペーパータオルもしくはマイクロファイバー布
- ・IPA(イソプロピルアルコール)(IPAがない場合、造形物洗浄の無水エタノール)
- ・Novus 1 (Formlabs社推奨品)(ない場合は、汎用ガラスクリーナー)



<u>上面</u>

<u> 左側面</u>

<u>右側面</u>

プリンタ本体上面、左側面、右側面の黒色箇所もしくは銀色箇所(赤丸箇所)において、 マイクロファイバー布もしくはペーパータオルにIPAをしみこませ、汚れを拭き取ります。



プリンタ本体背面は、マイクロファイバー布もしくは ペーパータオルに「NOVUS1」(ない場合は、汎用ガラスクリーナー) を吹き付け、汚れを拭き取ります。

<u>背面</u>